

なかつか 亮



品川区は 自・公政権退場の審判下る

くらしを支える政治へ転換を 第3回品川区議会定例会が始まる

総選挙では、国民多数の力で自民・公明政権を退場させました。これは自公政権が崩壊しただけでなく、自民党政治そのものが、もはや通用しなくなつたことを示していると思います。今こそ、品川区もくらしを支える政治へ転換する時です。第3回品川区議会定例会が始まりました。日本共産党は、住民が主役の政治実現に向けがんばります。

本会議始まる

第3回定例会は9月17日から10月21日の約一ヶ月。各常任・特別委員会後は、約2週間の決算特別委員会が行われます。初日の本会議には共産党から南恵子区議が質問に立ちます。

先の総選挙では、暮らし、福祉を壊してきた自民党政治に、退場の明確な審判が下されました。共産党はこの声を

力に、品川区が地方

自治体の基本である「福祉の増進」(地方自治法第一条②)に向けがんばります。

本会議では「中小企業対策」「障害者福祉充実」を取り上げます。今回のニュースでは中小企業対策を紹介し

国民には実感なき「好景気」

自公政権の経済政策は「大企業が潤えば、やがてが中小企業、国民生活にしくが滴り落ちてくる」



というもの。国際競争力を名目に輸出大企業には大幅な大減税を実施。派遣労働など労働法制の改正で人件費を抑制。コストカットは、中小企業の単価引き下げを招きました。

こうして大企業は空前の収益増で潤うが、国民には「実感なき好景気」が作られたのです。裏へ

福祉削減

大企業の利益は内部留保と金融マネーゲームに消え、一部富裕層は私腹を増大させ格差社会が拡大。さらに大企業減税による、減収の穴埋めに庶民増税と福祉切り捨てが狙い撃ち。増税や福祉切り捨てが相次ぎ、これらが世界金融恐慌を機に、くらし破壊が一気に加速しました。

私は「くらし破壊の政治はもうやめて」との怒りが、総選挙の自公政権退場を作ったと思います。



中小企業の

仕事確保を急げ

自民党政治の退場は、同時に新しい政治の始まりです。

共産党は区民生活を支えるため、今回は中小企業対策の充実を取り上げました。

中小企業は国内経済構造の99%を占め、雇用の83%を占めている経済の主役。日本経済を下から支えるだけでなく「雇用確保」「地域経済への波及効果」「優れたものづくり技術」「地域に根ざした社会的責任」を果たしています。

今、その中小企業が危機的状况。町では既に倒産、廃業が相次いでいます。



今こそ品川区は区民生活を支えるため、中小企業の仕事確保に力を注ぐべきです。

仕事づくりを急げ

①区民要望も強い、保育園や区営住宅、特養ホームなど生活密着型公共事業で仕事確保を。駅前再開発など大型公共事業は大手ゼネコンは仕事がくるが、区内中小企業は皆無です。ハコモノ公共事業は抜本の見直しが必要です。

②木造住宅耐震化助成事業の大幅充実、火災警報器や家具転

倒防止器具取り付け補助事業を一般家庭も対象に。防災対策とあわせ地元建設業の仕事づくり。

③小規模事業者登録制度の新設

④工場家賃などの固定費補助の創設。ものづくり技術を守るため、人件費や休業補償とあわせ、家賃などの固定費補助の実施。

⑤商店街装飾灯電気代の全額補助実施
総選挙で示された自公政治に変わる新しい政治実現に向け、日本共産党は「建設的野党」として現実政治を前に動かすために、国でも地方でも全力でがんばります。
なかつか亮

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

11月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**
急なご相談やお困りごとなどは、いつでもご連絡下さい。まずは気軽にお電話を。